



## 2022年3月期 第1四半期決算短信〔IFRS〕(連結)

2021年8月4日

上場会社名 東レ株式会社  
 コード番号 3402 URL www.toray.co.jp

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 日覺 昭廣  
 問合せ先責任者 (役職名) 広報室長 (氏名) 松村 俊紀 TEL 03-3245-5178  
 四半期報告書提出予定日 2021年8月6日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有  
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (証券アナリスト・機関投資家向け)

(百万円未満四捨五入)

### 1. 2022年3月期第1四半期の連結業績(2021年4月1日～2021年6月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上収益		事業利益		営業利益		税引前 四半期利益		四半期利益		親会社の所有者に 帰属する四半期利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2022年3月期 第1四半期	513,672	29.2	36,101	189.0	35,891	279.6	40,938	215.2	32,604	284.7	29,729	214.4
2021年3月期 第1四半期	397,631	△22.5	12,492	△63.7	9,454	△71.8	12,989	△64.3	8,476	△69.2	9,457	△63.0

(注) 四半期包括利益合計額 2022年3月期第1四半期 42,658百万円(154.4%) 2021年3月期第1四半期 16,771百万円(—%)

事業利益は、営業利益から非経常的な要因により発生した損益を除いて算出しております。

	基本的1株当たり 四半期利益		希薄化後1株当たり 四半期利益	
	円	銭	円	銭
2022年3月期第1四半期	18	57	18	31
2021年3月期第1四半期	5	91	5	90

#### (2) 連結財政状態

	資産合計		資本合計		親会社の所有者に 帰属する持分		親会社所有者 帰属持分比率	
	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円	%	百万円	%
2022年3月期第1四半期	2,864,579	1,355,678	1,269,879	44.3				
2021年3月期	2,848,839	1,322,275	1,237,851	43.5				

### 2. 配当の状況

	年間配当金					
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計	
	円	銭	円	銭	円	銭
2021年3月期	—	4.50	—	4.50	9.00	
2022年3月期	—					
2022年3月期(予想)		8.00	—	8.00	16.00	

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 2022年3月期の連結業績予想(2021年4月1日～2022年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上収益		事業利益		親会社の所有者に 帰属する当期利益		基本的1株当たり 当期利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円	銭
第2四半期(累計)	1,065,000	24.4	60,000	76.0	45,000	907.6	28	11
通期	2,250,000	19.5	130,000	44.0	90,000	96.5	56	23

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更

- ① IFRSにより要求される会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

2022年3月期1Q	1,631,481,403株	2021年3月期	1,631,481,403株
2022年3月期1Q	30,817,898株	2021年3月期	31,029,819株
2022年3月期1Q	1,600,522,201株	2021年3月期1Q	1,600,108,568株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に掲載されている業績予想は、本資料の発表日現在における将来の経済環境予想等の前提に基づいて作成したものであり、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。実際の業績は、今後種々の要因によって予想数値と異なる場合があります。業績予想の前提となる仮定等につきましては、【添付資料】4ページ「1. 経営成績等の概況(2) 今後の見通し」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況 .....	2
(1) 当四半期の経営成績・財政状態の概況 .....	2
(2) 今後の見通し .....	4
2. 要約四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	5
(1) 要約四半期連結財政状態計算書 .....	5
(2) 要約四半期連結損益計算書及び要約四半期連結包括利益計算書 .....	7
(3) 要約四半期連結持分変動計算書 .....	9
(4) 要約四半期連結キャッシュ・フロー計算書 .....	11
(5) 要約四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	12
(6) 継続企業の前提に関する注記 .....	13

## 1. 経営成績等の概況

## (1) 当四半期の経営成績・財政状態の概況

(当四半期の経営成績)

	当第1四半期 連結累計期間	前年同期比 増減率
売上収益	5,137億円	29.2%
事業利益	361億円	189.0%
営業利益	359億円	279.6%
親会社の所有者に 帰属する四半期利益	297億円	214.4%

当第1四半期連結累計期間(2021年4月1日～6月30日)の世界経済は、中国経済の回復持続に加えて、新型コロナウイルスによる落ち込みからの反動と、欧米が先行するワクチン接種を背景とした行動制限の緩和、及び米国の大型景気対策もあって大きく回復しました。一方、日本では首都圏を中心に緊急事態宣言が再発令されるなど、ワクチン接種の進捗によって、新型コロナウイルスの感染抑制や経済の回復に各国で差が生じました。

このような事業環境の中で、当社グループは2020年5月より、「持続的かつ健全な成長」を目指し、「成長分野でのグローバルな拡大」、「競争力強化」、「経営基盤強化」を基本戦略とした新たな中期経営課題“プロジェクトAP-G 2022”をスタートしています。

以上の結果、当社グループの連結業績は、売上収益は前年同期比29.2%増の5,137億円、事業利益(注1)は同189.0%増の361億円となりました。営業利益は同279.6%増の359億円、親会社の所有者に帰属する四半期利益は同214.4%増の297億円となりました。

事業分野ごとの状況は以下のとおりです。

## 【繊維事業】

	当第1四半期 連結累計期間	前年同期比 増減率
売上収益	1,842億円	27.0%
事業利益	118億円	63.4%

国内外ともに需要の回復が見られました。衣料用途では、引き続き新型コロナウイルスの影響を受けた用途があるものの、スポーツ・アウトドア用途が好調に推移、産業用途においては自動車関連用途が回復し、数量を伸ばしました。

以上の結果、繊維事業全体では、売上収益は前年同期比27.0%増の1,842億円、事業利益は同63.4%増の118億円となりました。

## 【機能化成品事業】

	当第1四半期 連結累計期間	前年同期比 増減率
売上収益	2,226億円	43.0%
事業利益	279億円	244.2%

樹脂事業は、コロナ禍の反動と自動車メーカーの稼働及び中国経済の回復から、需要が好調に推移しました。ケミカル事業は、基礎原料の市況が回復しました。フィルム事業は、リチウムイオン二次電池向けバッテリーセパレータフィルムにおいて車載用途が回復したほか、ポリエステルフィルムで光学用途・電子部品関連が好調に推移しました。電子情報材料事業は、有機EL関連の需要が増加しました。

以上の結果、機能化成品事業全体では、売上収益は前年同期比43.0%増の2,226億円、事業利益は同244.2%増の279億円となりました。

## 【炭素繊維複合材料事業】

	当第1四半期 連結累計期間	前年同期比 増減率
売上収益	485億円	6.9%
事業利益	△21億円	—

一般産業用途では、風力発電翼用途やスポーツ用途が好調に推移しましたが、航空宇宙用途において、民間旅客機のビルドレートが減少した影響を受けました。また、原料価格上昇の影響を受けました。

以上の結果、炭素繊維複合材料事業全体では、売上収益は前年同期比6.9%増の485億円、事業利益は同38億円減の21億円の損失となりました。

## 【環境・エンジニアリング事業】

	当第1四半期 連結累計期間	前年同期比 増減率
売上収益	437億円	17.6%
事業利益	34億円	316.6%

水処理事業は、一部地域で新型コロナウイルスの影響があったものの、逆浸透膜などの需要が堅調に推移しました。

国内子会社では、エンジニアリング子会社でエレクトロニクス関連装置の出荷が増加しました。

以上の結果、環境・エンジニアリング事業全体では、売上収益は前年同期比17.6%増の437億円、事業利益は同316.6%増の34億円となりました。

## 【ライフサイエンス事業】

	当第1四半期 連結累計期間	前年同期比 増減率
売上収益	115億円	△0.8%
事業利益	2億円	193.4%

医薬事業は、経口そう痒症改善薬レミッチ<sup>®</sup>(注2)において、後発医薬品発売の影響を受けたほか、薬価改定の影響を受けました。

医療機器事業は、血液透析ろ過用のダイアライザーが国内で堅調に推移しました。

以上の結果、ライフサイエンス事業全体では、売上収益は前年同期比0.8%減の115億円、事業利益は同1億円増の2億円となりました。

(注) 1. 事業利益は、営業利益から非経常的な要因により発生した損益を除いて算出しております。

2. レミッチ<sup>®</sup>は、鳥居薬品㈱の登録商標です。

## (財政状態の概況)

当第1四半期連結会計期間末の財政状態は、資産は、棚卸資産が増加したことを主因に、前連結会計年度末に比べ157億円増加し2兆8,646億円となりました。

負債は、社債及び借入金が増加したことを主因に、前連結会計年度末に比べ177億円減少し1兆5,089億円となりました。

資本は、利益剰余金の増加を主因に、前連結会計年度末に比べ334億円増加し1兆3,557億円となり、このうち親会社の所有者に帰属する持分は1兆2,699億円となりました。当第1四半期連結会計期間末の親会社所有者帰属持分比率は、前連結会計年度末に比べ0.9ポイント上昇し44.3%となりました。

## (2) 今後の見通し

内外経済は、米国での追加財政支出や金融緩和の継続、及び新型コロナウイルスのワクチン普及を背景に回復を続けると見えています。ただし、新興国などではワクチン接種率が依然低いことや、変異株の感染再拡大に伴う経済活動の制限(日本での4度目の緊急事態宣言発令、各国の経済活動制限)など、先行きには不透明感が強いいため、正常化への過程は緩やかなペースになるものと見られます。なお、アフターコロナにおいても米中対立の継続が世界経済回復の重しとなる可能性があります。原油など国際商品価格高騰の影響や、米欧におけるインフレ懸念と金融緩和政策の転換が市場に及ぼす影響等にも留意する必要があります。

このような状況の下、当社グループは、中期経営課題“プロジェクト AP-G 2022”の基本戦略を推進し、不確実性に備えた事業運営を実行してまいります。

当連結会計年度の業績予想につきましては、第1四半期累計期間の業績動向及び事業環境等を踏まえ、第2四半期累計期間の予想を売上収益1兆650億円、事業利益600億円、親会社の所有者に帰属する四半期利益450億円、通期の予想については、売上収益2兆2,500億円、事業利益1,300億円、親会社の所有者に帰属する当期利益900億円にそれぞれ変更いたしました。なお、7月以降の為替レートは105円/ドルを想定しています。

## 2. 要約四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 要約四半期連結財政状態計算書

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2021年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2021年6月30日)
資産		
流動資産		
現金及び現金同等物	236,354	233,970
営業債権及びその他の債権	522,259	505,504
棚卸資産	369,110	398,612
その他の金融資産	6,136	6,222
その他の流動資産	47,180	46,548
売却目的で保有する資産	—	26,896
流動資産合計	1,181,039	1,217,752
非流動資産		
有形固定資産	998,358	993,128
使用権資産	50,481	50,817
のれん	85,565	89,458
無形資産	78,305	76,837
持分法で会計処理されている投資	174,142	172,100
その他の金融資産	217,341	212,663
繰延税金資産	14,414	20,525
退職給付に係る資産	34,879	17,058
その他の非流動資産	14,315	14,241
非流動資産合計	1,667,800	1,646,827
資産合計	2,848,839	2,864,579

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2021年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2021年6月30日)
負債及び資本		
負債		
流動負債		
営業債務及びその他の債務	282,812	276,899
社債及び借入金	278,678	263,119
リース負債	10,635	11,003
その他の金融負債	12,872	13,624
未払法人所得税	11,956	14,631
その他の流動負債	84,425	80,017
流動負債合計	681,378	659,293
非流動負債		
社債及び借入金	654,608	657,945
リース負債	30,006	29,899
その他の金融負債	6,699	6,847
繰延税金負債	41,516	43,150
退職給付に係る負債	100,852	100,496
その他の非流動負債	11,505	11,271
非流動負債合計	845,186	849,608
負債合計	1,526,564	1,508,901
資本		
親会社の所有者に帰属する持分		
資本金	147,873	147,873
資本剰余金	120,493	120,445
利益剰余金	899,994	925,748
自己株式	△19,985	△19,849
その他の資本の構成要素	89,476	95,662
親会社の所有者に帰属する持分合計	1,237,851	1,269,879
非支配持分	84,424	85,799
資本合計	1,322,275	1,355,678
負債及び資本合計	2,848,839	2,864,579



## (2) 要約四半期連結損益計算書及び要約四半期連結包括利益計算書

## 要約四半期連結損益計算書

## 第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年6月30日)
売上収益	397,631	513,672
売上原価	△315,199	△404,749
売上総利益	82,432	108,923
販売費及び一般管理費	△69,386	△72,687
その他の収益	958	1,164
その他の費用	△4,550	△1,509
営業利益	9,454	35,891
金融収益	2,606	2,503
金融費用	△2,090	△1,728
持分法による投資利益	3,019	4,272
税引前四半期利益	12,989	40,938
法人所得税費用	△4,513	△8,334
四半期利益	8,476	32,604
四半期利益の帰属		
親会社の所有者	9,457	29,729
非支配持分	△981	2,875
四半期利益	8,476	32,604
1株当たり四半期利益		
基本的1株当たり四半期利益(円)	5.91	18.57
希薄化後1株当たり四半期利益(円)	5.90	18.31

## 要約四半期連結包括利益計算書

## 第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年6月30日)
四半期利益	8,476	32,604
その他の包括利益		
純損益に振り替えられることのない項目		
その他の包括利益を通じて公正価値で 測定する資本性金融資産	8,819	1,178
確定給付制度の再測定	954	2,742
持分法によるその他の包括利益	174	111
項目合計	9,947	4,031
純損益に振り替えられる可能性のある項目		
キャッシュ・フロー・ヘッジ	△48	318
ヘッジコスト	260	135
在外営業活動体の換算差額	△1,864	5,569
持分法によるその他の包括利益	—	1
項目合計	△1,652	6,023
その他の包括利益合計	8,295	10,054
四半期包括利益	16,771	42,658
四半期包括利益の帰属		
親会社の所有者	17,283	39,266
非支配持分	△512	3,392
四半期包括利益	16,771	42,658

## (3) 要約四半期連結持分変動計算書

前第1四半期連結累計期間(自 2020年4月1日 至 2020年6月30日)

(単位:百万円)

	親会社の所有者に帰属する持分			
	資本金	資本 剰余金	利益 剰余金	自己 株式
2020年4月1日残高	147,873	121,987	860,128	△20,308
四半期利益	—	—	9,457	—
その他の包括利益	—	—	—	—
四半期包括利益	—	—	9,457	—
新株予約権の行使	—	△306	—	306
株式報酬取引	—	85	—	—
配当金	—	—	△12,806	—
その他の資本の構成要素か ら利益剰余金への振替	—	—	2,007	—
その他	—	△1	—	1
所有者との取引額等合計	—	△222	△10,799	307
2020年6月30日残高	147,873	121,765	858,786	△20,001

(単位:百万円)

	親会社の所有者に帰属する持分								
	その他の資本の構成要素								
	その他の 包括利益を 通じて 公正価値で 測定する 資本性 金融資産	キャッシュ ・フロー ・ヘッジ	ヘッジ コスト	在外営業 活動体の 換算差額	確定給付 制度の 再測定	その他の 資本の 構成要素 合計	親会社の 所有者に 帰属する 持分合計	非支配 持分	資本 合計
2020年4月1日残高	49,260	△217	△214	△42,434	—	6,395	1,116,075	84,771	1,200,846
四半期利益	—	—	—	—	—	—	9,457	△981	8,476
その他の包括利益	8,845	△48	260	△2,115	884	7,826	7,826	469	8,295
四半期包括利益	8,845	△48	260	△2,115	884	7,826	17,283	△512	16,771
新株予約権の行使	—	—	—	—	—	—	0	—	0
株式報酬取引	—	—	—	—	—	—	85	—	85
配当金	—	—	—	—	—	—	△12,806	△1,197	△14,003
その他の資本の構成要素か ら利益剰余金への振替	△1,123	—	—	—	△884	△2,007	—	—	—
その他	—	9	—	—	—	9	9	—	9
所有者との取引額等合計	△1,123	9	—	—	△884	△1,998	△12,712	△1,197	△13,909
2020年6月30日残高	56,982	△256	46	△44,549	—	12,223	1,120,646	83,062	1,203,708

当第1四半期連結累計期間(自 2021年4月1日 至 2021年6月30日)

(単位:百万円)

	親会社の所有者に帰属する持分			
	資本金	資本 剰余金	利益 剰余金	自己 株式
2021年4月1日残高	147,873	120,493	899,994	△19,985
四半期利益	—	—	29,729	—
その他の包括利益	—	—	—	—
四半期包括利益	—	—	29,729	—
新株予約権の行使	—	△136	—	136
株式報酬取引	—	89	—	—
配当金	—	—	△7,206	—
その他の資本の構成要素か ら利益剰余金への振替	—	—	3,231	—
その他	—	△1	—	△0
所有者との取引額等合計	—	△48	△3,975	136
2021年6月30日残高	147,873	120,445	925,748	△19,849

(単位:百万円)

	親会社の所有者に帰属する持分									
	その他の資本の構成要素							親会社の 所有者に 帰属する 持分合計	非支配 持分	資本 合計
	その他の 包括利益を 通じて 公正価値で 測定する 資本性 金融資産	キャッシュ ・フロー ・ヘッジ	ヘッジ コスト	在外営業 活動体の 換算差額	確定給付 制度の 再測定	その他の 資本の 構成要素 合計				
2021年4月1日残高	80,082	△684	399	9,679	—	89,476	1,237,851	84,424	1,322,275	
四半期利益	—	—	—	—	—	—	29,729	2,875	32,604	
その他の包括利益	1,218	318	135	4,978	2,888	9,537	9,537	517	10,054	
四半期包括利益	1,218	318	135	4,978	2,888	9,537	39,266	3,392	42,658	
新株予約権の行使	—	—	—	—	—	—	0	—	0	
株式報酬取引	—	—	—	—	—	—	89	—	89	
配当金	—	—	—	—	—	—	△7,206	△1,299	△8,505	
その他の資本の構成要素か ら利益剰余金への振替	△343	—	—	—	△2,888	△3,231	—	—	—	
その他	—	△120	—	—	—	△120	△121	△718	△839	
所有者との取引額等合計	△343	△120	—	—	△2,888	△3,351	△7,238	△2,017	△9,255	
2021年6月30日残高	80,957	△486	534	14,657	—	95,662	1,269,879	85,799	1,355,678	

## (4) 要約四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期利益	12,989	40,938
減価償却費及び償却費	28,447	29,789
減損損失(又は戻入れ)	2,165	7
持分法による投資損益	△3,019	△4,272
金融収益及び金融費用	△1,072	△1,324
営業債権及びその他の債権の増減額	78,467	23,695
棚卸資産の増減額	△17,354	△24,876
営業債務及びその他の債務の増減額	△34,828	△5,840
退職給付に係る資産及び負債の増減額	△1,057	△997
その他	△963	△1,792
小計	63,775	55,328
利息の受取額	346	386
配当金の受取額	5,753	3,431
利息の支払額	△1,401	△960
法人所得税の支払額又は還付額	△8,990	△10,424
営業活動によるキャッシュ・フロー	59,483	47,761
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産及び無形資産の取得による支出	△33,880	△22,566
有形固定資産及び無形資産の売却による収入	542	831
子会社の取得による支出	—	△1,569
投資の取得による支出	△186	△44
投資の売却及び償還による収入	330	2,533
その他	△1,074	△866
投資活動によるキャッシュ・フロー	△34,268	△21,681
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入債務の純増減額	54,098	△33,136
社債の発行及び長期借入れによる収入	17,305	20,255
社債の償還及び長期借入金の返済	△36,200	△5,356
リース負債の返済による支出	△2,822	△2,901
親会社の所有者への配当金の支払額	△12,073	△6,838
非支配持分への配当金の支払額	△1,197	△1,299
その他	3,250	△1
財務活動によるキャッシュ・フロー	22,361	△29,276
現金及び現金同等物の為替変動による影響	△179	812
現金及び現金同等物の増減額	47,397	△2,384
現金及び現金同等物の期首残高	183,703	236,354
現金及び現金同等物の四半期末残高	231,100	233,970

## (5) 要約四半期連結財務諸表に関する注記事項

(セグメント情報)

前第1四半期連結累計期間(自 2020年4月1日 至 2020年6月30日)

(単位:百万円)

	報告セグメント					その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	連結
	繊維事業	機能化成品 事業	炭素繊維複 合材料事業	環境・エン 지니어リン グ事業	ライフサイ エンス事業				
売上収益									
外部顧客からの売上収益	144,996	155,631	45,417	37,154	11,551	2,882	397,631	—	397,631
セグメント間売上収益	257	3,104	132	12,008	—	6,443	21,944	△21,944	—
計	145,253	158,735	45,549	49,162	11,551	9,325	419,575	△21,944	397,631
事業利益(注)3	7,198	8,106	1,709	818	61	140	18,032	△5,540	12,492

(注) 1. 「その他」は分析・調査・研究等のサービス関連事業等です。

2. 事業利益の調整額△5,540百万円には、セグメント間取引消去144百万円及び各報告セグメントに配分していない全社費用△5,684百万円が含まれております。全社費用は、報告セグメントに帰属しない本社研究費です。

3. 事業利益は、営業利益から非経常的な要因により発生した損益を除いて算出してしております。

当第1四半期連結累計期間(自 2021年4月1日 至 2021年6月30日)

(単位:百万円)

	報告セグメント					その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	連結
	繊維事業	機能化成品 事業	炭素繊維複 合材料事業	環境・エン 지니어リン グ事業	ライフサイ エンス事業				
売上収益									
外部顧客からの売上収益	184,154	222,611	48,543	43,700	11,454	3,210	513,672	—	513,672
セグメント間売上収益	334	4,712	206	8,428	—	6,851	20,531	△20,531	—
計	184,488	227,323	48,749	52,128	11,454	10,061	534,203	△20,531	513,672
事業利益(△損失)(注)3	11,762	27,897	△2,063	3,408	179	201	41,384	△5,283	36,101

(注) 1. 「その他」は分析・調査・研究等のサービス関連事業等です。

2. 事業利益の調整額△5,283百万円には、セグメント間取引消去248百万円及び各報告セグメントに配分していない全社費用△5,531百万円が含まれております。全社費用は、報告セグメントに帰属しない本社研究費です。

3. 事業利益は、営業利益から非経常的な要因により発生した損益を除いて算出してしております。

事業利益から税引前四半期利益への調整は、以下のとおりです。

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年6月30日)
事業利益	12,492	36,101
固定資産売却益	54	358
固定資産処分損	△927	△561
減損損失	△2,165	△7
営業利益	9,454	35,891
金融収益	2,606	2,503
金融費用	△2,090	△1,728
持分法による投資利益	3,019	4,272
税引前四半期利益	12,989	40,938

(6) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。